

2011年度受託研究概要報告

授産商品開発プロジェクトに関する作業所へのものづくり支援

研究メンバー

見寺貞子 ファッションデザイン学科教授
 かわいひろゆき ビジュアルデザイン学科教授
 森下千春 ファッションデザイン学科実習助手

委託者

社会福祉法人 神戸市社会福祉協議会

研究概要

2011年度は、2010年度のアンケート調査で要望の多かった「販路・営業力の向上、新商品の開発・既存商品の改良」を課題として捉え、「商品づくりセミナー&商品づくりを考える集い」を実施し、情報の共有化や自身の商品に対して意見交換会を行った。その後、支援希望施設でグループを作り、個別相談会を開き、情報交換と授産商品の指導を行った。さらに支援希望があった施設については、個別指導も行った。これらから改善点と課題を見出した。

研究成果

障害者福祉施設や作業所にデザイン指導を行う中、施設間の情報の共有化やネットワークを活用したモノづくり、市場を意識したモノづくりの必要性を施設職員の方々に理解していただいた。しかし、ネットワークやコラボレーションを活用したものづくりに関しては、施設職員の退職や作業所間の打ち合わせの時間調整ができず、今年度は十分な成果が得られなかった。今後、グループをコントロールできるリーダー的人材が重要であることと、各作業所間での作業スピードや取り組み姿勢等の差異をどの様に調整していくかが検討事項としてあげられた。



写真1 商品づくりを考える集い



写真3 商品づくりセミナー



写真2 商品づくりを考える集い



写真4 授産商品開発プロジェクト会議